

県事業    協議会事業    観光物産課PR事業    各登山道管理者

		令和元年度												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<b>活用促進協議会</b> 事務局:スポーツ振興課					● 総会					部会 (随時)			● 運営委員会	
<b>安全対策</b>	安全情報の提供・意識啓発			①	トレイル安全等確認調査 安全登山情報提供(谷川岳・野反湖)									
		安全登山講習会(随時開催)												
		COMPASSアプリによる登山計画書提出促進活動												
		専用ホームページによる迅速な安全情報の提供												
	安全性向上のためのハード整備			②	避難小屋整備									
		スマート山岳道標の運用												
検索・救助体制の整備				③	位置ナンバー標識の設置									
					環境整備(草刈り)									
					県管理登山道(設備)再整備(四阿山山頂部、山田峠~万座温泉)									
		携帯電話不通エリアの解消に向けての働きかけ												
トレイルの認知度向上・観光資源との結びつけ	魅力に関する情報発信	ホームページによる情報発信												
		オリジナルPRグッズ(マップ・タオル・手ぬぐい)作成・頒布												
		協賛金募集活動												
関係者が連携したPR				● 7月 稜線ツアー(中之条町)										
			● 5/14 全国宣伝販売促進会議											
			● 6/8-9 ぐんま山フェスタ											
													● 8/11 山の日イベント(みなかみ町、嬬恋村)	
	稜線トレイルPR													
	(1)ファミリー向けガイドブック (2)観光誘客動画の作成 (3)首都圏エージェント訪問 (4)ファミトリップ実施													


### ①トレイル安全等確認調査

トレイル全線及びアクセス道の安全性確保のため、山岳団体に安全パトロールを委託する。(危険情報はホームページ等で情報提供する)

(1) 調査対象

- ・稜線トレイル (約100km全線)
- ・アクセス登山道 (20箇所)
- ・併せて見所情報等も調査

(2) 委託先  
県山岳団体連絡協議会ほか



### ②避難小屋整備

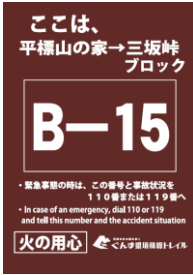
ムジナ平(中之条町)において、避難小屋を整備する。(約10人収容)



かまぼこ形避難小屋の例(檜尾避難小屋:駒ヶ根市)

### ③位置ナンバー標識設置

トレイル全線(樹林帯エリア)の193箇所位置ナンバーを整備し、遭難事故時における、事故現場把握を支援し、警察及び消防等の捜索救助活動の負担軽減を図る。



ここは、平標山の家→三坂峠ブロック  
**B-15**

緊急事態の際は、この番号と事故状況を110番または119番へ  
In case of an emergency, dial 110 or 119 and tell this number and the accident situation

火の用心